

IV

関連施策

みなとまちの振興に関する施策

新潟開港150周年を契機として、官公庁等の関係機関が取組む施策や事業を開港150周年記念事業の「関連施策」として位置づけ、各事業を推進した。
 (対象期間：2018年4月～2019年12月)

■ 主な施策 ※ 一覧をP.170～175で掲載

事業名	開港150周年記念給食
実施年度	2018年度
実施主体	新潟市
	新潟開港に関連する料理を献立にした給食を実施し、みなとまち新潟をPRした。市内155校・園で実施。
基本方針	(1)みなと文化の深化と次世代への継承



事業名	観光客おもてなし態勢促進事業		
実施年度	2018・2019年度	実施主体	新潟市
	新潟駅を起点に「農や食文化」などストーリー性のある観光エリアを形成。新潟ストーリープロジェクトとして、国内外からの観光客へのおもてなし態勢を整備。		
基本方針	(2)みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信		



新潟島エリア



沼垂エリア



沢海エリア



岩室エリア



新津エリア



鳥屋野エリア

事業名	クルーズ船の誘致推進		
実施年度	2018・2019年度	実施主体	新潟県、新潟市、聖籠町
寄港時の歓送迎対応や乗客・クルーズ船社等へ新潟港・新潟市・聖籠町を中心とした県内観光のアピールしクルーズ船を誘致。[寄港実績] 2018年度：13回、2019年度：14回			
基本方針	(3)新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築		



事業名	ミズベリング信濃川やすらぎ堤の実施		
実施年度	2018・2019年度	実施主体	新潟市、民間事業者
河川法の改正で民間事業者による営業活動が可能となり、信濃川やすらぎ堤の一部区域で、飲食店の出店を中心とした賑わい創出事業を展開。 [利用者数]2018年度：35,300人、2019年度：40,300人			
基本方針	(4)港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造		



事業名	粟島・新潟航路による誘客実験		
実施年度	2018・2019年度	実施主体	粟島浦村
昭和49年まで運航していた新潟港と粟島港を結ぶ「粟島・新潟航路」を期間限定で復活させる実験の実施。[乗船者数] 2018年度：478人、2019年度：952人			
基本方針	(5)活気と魅力があふれる「みなと」の創出		

みなとまちの振興に関する施策一覧

(1) みなと文化の深化と次世代への継承

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
「新潟開港150年史」刊行事業	新潟市	新潟開港150周年を記念した「図説 新潟開港150年史」を刊行。	2018
新潟開港150周年記念講座	新潟市	開港場としての新潟の歴史について講座を開催。	2018
東区まんなか文化プロジェクト	新潟市	東区市民劇団による演劇公演や、新潟県立大学と連携したイベントを開催することにより、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信。	2018
新潟開港150周年記念の啓発事業	中央区自治協議会（新潟市）	区自治協議会提案事業として、開港150周年の歴史的節目を市民（区民）に周知し、多くの方々に関心を持ってもらうために、開港150周年記念カレンダーを作成し、機運醸成を図った。	2018
開港150周年記念給食	新潟市	新潟港開港に関連する料理を献立にした給食を実施し、「みなとまち新潟」をPRした。	2018
にいがた市民大学「開港150周年記念 開港都市に選ばれた「新潟」-その歴史と魅力-」	新潟市	北前船によってもたらされた文化や、イザベラ・バードの目に映った明治初期の新潟などを通し、開港都市に選ばれるまでの、また開港後の新潟を様々な切り口から検証し、浮き彫りにする講座を開催した。	2018
水道局広報紙「水先案内」作製・配布	新潟市水道局	開港150周年ロゴを掲載した広報誌「水先案内」を年4回（春・夏・秋・冬）作製し、水道メーター検針時に検針票と一緒に個別に配布。配布は、年3回（春・夏・秋）。	2018
ペットボトル水製造	新潟市水道局	ラベルに開港150周年ロゴを入れたボトルドウォーター「新潟のおいしい水道水柳都物語」を製造し、防災用備蓄・販売・各種イベントでの配布、市役所への無償譲渡。	2018
中央区 地域のお宝！再発見事業	新潟市	中央区の地域資源に対し、市民（特に区民）が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き（えんでこ）や提案型によるまち歩きを実施した。	2019
歴史博物館企画展等実施事業（資料集「明治のにいがた-地図・写真-」発行）	新潟市	新潟開港150周年を記念した資料集「明治のにいがた-地図・写真-」を刊行した。	2019
古町芸妓育成支援事業	新潟市	みなとまち新潟の文化を象徴する古町芸妓の育成を支援し、新潟市の特徴ある観光資源の保全及びその発展を図った。	2018 2019
小学校図書室への新潟開港150周年記念コーナー設置	新潟市	子どもたちに「みなと」や「みなとまちの歴史・文化」に親しみと愛着を持ってもらうため、小学校図書室に海、港、貿易、海運、歴史、文化、地元学等に関する書籍を集めた「新潟開港150周年記念コーナー」を設置。	2018 2019
北前船がもたらした伝統的産業PR事業	新潟市	開港150周年を意識しつつ、北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」と「発酵食」に加え、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」についてもその魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図った。	2018 2019
大好きにいがた体験	新潟市	新潟市の子どもたちが、みなとまちに関連した「ひと・もの・こと」のすばらしさを知り、発信することで、新潟への愛着を育む学習活動を支援。	2018 2019

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
日本開港五都市観光交流	新潟観光コンベンション協会	開港五都市で構成する観光協議会に参加し、情報交換を行う。各都市（長崎、横浜、神戸、函館、新潟）の代表的なまつりに観光親善大使を派遣し、新潟の魅力をアピールするなど、都市間交流の促進に努めた。	2018 2019
クルーズFC（ファンクラブ）運営	新潟市	クルーズファンクラブ会員から寄港時のお出迎えやお見送りに参加していただくことで、新潟のおもてなしの心を乗客・クルー等に発信していただくとともに、会員自らも新潟が「みなとまち」であることを再認識していただける契機とした。	2018 2019
北区 郷土芸能の伝承支援	新潟市	北区に伝わる神楽などを地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取組みを支援。	2018 2019
東区 歴史浪漫プロジェクト	新潟市	東区にあったとされる説が有力な「湊足柵」と、2014年度に古墳と確認された「牡丹山諏訪神社古墳」の周知を図るとともに、区民・商店街等と協働しながら、地域の誇りづくりと活性化に取り組んだ。	2018 2019
伝統文化PR事業	新潟市	みなとまち新潟で育まれてきた文化を再認識してもらい、地域文化の活性化を図るため、中央区の文化施設等を活用した伝統文化のPRを推進した。	2018

(2)みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
ジャポニズム2018（フランス開催）への参加	新潟市	日仏友好160周年の2018年にフランスで開催された「ジャポニズム2018」に参加し、市の伝統文化などを広く紹介することで、みなとまち新潟の魅力を国内外に発信し、インバウンドの誘致を進め、交流人口の拡大を図った。	2018
水と土の芸術祭推進事業	新潟市（水と土の芸術祭実行委員会）	新潟の豊かな暮らし文化の磨き上げと発信により、本市の存在感を高めるとともに、水と土の文化創造都市を前進させるため、「水と土の芸術祭2018」を開催した。	2018
観光ボランティアガイド養成事業	新潟市	観光客がまち歩きを楽しめるよう、市街地を案内する観光ボランティアガイドの育成を図った。	2018
【県・イオン包括連携】イオン新潟県フェア	イオンリテール株式会社（新潟県）	新潟県とイオン株式会社との包括連携協定に基づき、県産農産物等をはじめとする県産品のPRや、観光情報の発信等を実施。	2018
にいがた観光親善大使	新潟観光コンベンション協会	新潟の魅力をPRするため観光親善大使を選出し、開港五都市交流をはじめ、新潟市内外での観光キャンペーンなどに派遣。	2018
新潟開港150周年記念PRムービー	新潟商工会議所	新潟市の魅力向上に向けたPR動画を制作し、YouTubeで配信。	2018
水と土の宝物活用事業	新潟市	水と土の芸術祭を通じて発展してきた、多様な市民の文化活動のさらなる活性化を図ることを目的に、市民が企画・運営をする「市民プロジェクト」の支援と子ども達の創造性を育む「こどもプロジェクト」を実施した。	2019
市民芸術文化会館事業補助金	新潟市	質の高い創造性あふれる鑑賞事業やジュニアの育成を目的とした事業に対して補助金を支出し、市民の文化活動の活性化を図るとともに、文化発信の拠点化をすすめることにより本市の芸術文化の振興を図った。	2019
新津鉄道資料館の魅力創造	新潟市	新津鉄道資料館の充実とまちなかの活性化や交流人口の拡大を目的に、新潟・新津の地域資源である「鉄道文化」を積極的に活用し、新潟市の新たな魅力を、地域や関係団体と連携し、全国にむけて発信した。	2019

開催概要

実行委員会事業

連携事業

関連施策

協賛・応援

資料編

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
潟ツーリズムの推進	新潟市	ラムサール条約湿地「瓢湖」（阿賀野市）と、環境省選定のラムサール条約湿地潜在候補地「福島潟」（新潟市、新発田市）を観光資源として有効活用を図り、交流人口の拡大に向けたエコツーリズム事業を実施。	2019
潟のネットワーク事業	新潟市	ラムサール条約の理念に基づき「潟」を地域の宝として保全するため、各地域の主体（関係者）との情報共有を図るネットワークを充実させるとともに、里潟に関する魅力発信を行った。	2019
食のマーケットイン支援	新潟市	市内食料品製造業者等の商品開発を支援するため、新潟IPC財団の専門人材等がアドバイスから戦略立案、経費補助、マッチングまでハンズオンで支援し、マーケットに受け入れられる商品開発及び改良を中小企業と一緒に進めた。	2019
食の商談・取引の支援	新潟市	食の取引振興を図るため、メーカーとバイヤーが接点を持つ機会を新潟IPC財団が提供し、市内食料品製造業者の販路拡大を支援。	2019
観光客おもてなし態勢促進事業	新潟市	新潟駅を起点として、豊かな「農」やみなとまちで育まれた「食文化」などストーリー性のある観光エリアを形成（新潟ストーリープロジェクト）するとともに、国内外からの観光客が快適に滞在し、行動できるよう、誘導サインの充実や多言語対応など、おもてなし態勢を整備。	2018 2019
魅力の発信・誘客の推進	新潟市	新潟市へのさらなる誘客につなげるため、ガストロノミー（食文化）ツーリズムやみなとまち文化をはじめ新潟市の個性を生かした着地型観光コンテンツの強化を図るとともに、様々なメディアを活用した効果的な情報発信を行った。	2018 2019
世界遺産登録	新潟県・佐渡市	世界遺産登録に向けた市民への普及啓発活動を行い、世界遺産登録推進への理解と文化財保護の気運の高まりを促進した。	2018 2019
文化プログラム推進事業	新潟市	東京2020大会に向けた文化プログラムを推進し、市民の文化芸術活動活性化を図るとともに本市文化を国内外へ発信した。	2018 2019
アーツカウンシル新潟運営事業	新潟市	市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するため、文化芸術の専門家によるアーツカウンシル新潟の運営を行った。	2018 2019
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた合宿誘致	新潟市	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各国代表選手団の合宿を新潟市内で実施することにより、交流人口の拡大、スポーツの振興及び新潟ブランドの認知向上を図った。	2018 2019
人口減少を踏まえた地域づくり	新潟市	市内56のエリアごとに過去の人口推移や将来の人口推計、公共施設の配置状況等のデータを取りまとめた「地域カルテ」を作成・活用し、地域の現状と将来を見据えた住民同士の意見交換や住民主体の取り組みを促進。	2018 2019
市報にいがた・区役所だより発行事業	新潟市	「市報にいがた」に開港150周年事業を取り上げた。また、必要に応じて既存紙面で特集を行った。	2018 2019
テレビ・ラジオ放送事業	新潟市	広報テレビ・ラジオにおいて、開港150周年を取り上げた。	2018 2019
ホームページ運用	新潟市	新潟市公式ホームページにおいて、トップページブランディング画像にNiipport画像やみなとまち関連の画像を掲載するなど、開港150周年を取り上げることにより、開港150周年の発信と機運醸成を図った。	2018 2019

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
食文化創造都市推進事業	新潟市	食と農と文化の融合による「食文化創造都市にいがた」を推進するため、レストランバスなどを活用したガストロノミーツーリズムを構築し、交流人口の拡大と地域の活性化を図った。	2018 2019
ふるさと新潟市応援寄附金	新潟市	寄附の使い道の活用事業例の一つとして、新潟開港150周年記念事業を紹介し、成果報告をした。また、関連商品をお礼の品として、新潟開港150周年記念事業を紹介した。	2018 2019
東区 産業・観光にぎわいプロジェクト	新潟市	東区の個性である「産業のまち」を区内外に広く発信し、東区の魅力をアピールすることで、区民としての誇りの再発見と交流人口の拡大を促進。	2018 2019
いい汗 いい食 江南健幸ライド	新潟市	いい汗 いい食 江南健幸ライドを実施し、江南区の平坦な地形特性と阿賀野川、小阿賀野川、信濃川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用するとともに、整備したサイクリングロードの利用拡大・PRのため、地域の食なども提供しながら健康増進や交流人口の拡大を図った(2018年度のサイクリングイベントは荒天により中止)。	2018 2019
西区を堪能 まち歩き・観光ツアー	新潟市	区内に点在する魅力ある自然景観や史跡や、旬の特産農産物の収穫体験などを組み合わせた集客できる観光コースを企画造成し、まち歩きや観光ツアーの実施により、地域魅力の再発見と交流人口の拡大を図った。	2018 2019
特産農産物の魅力発信とブランディング	新潟市	西区の特産農産物の魅力を県内外に発信し、知名度向上とブランド化、消費拡大を推進。また、国のGI登録された「くろさき茶豆」を活用して商店街及び地域の活性化を目指すほか、農工商連携により、食と花の名産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の高付加価値化に取り組んだ。	2018 2019
秋葉区 Akihaレール浪漫 <ren-ketsu>	新潟市	JR新津駅の旧びゅうプラザに「観光交流案内所 あ！キハ」を開設。観光ボランティアなどがいつ鉄道商店街や新津鉄道資料館を訪れた人々をご案内した。	2018 2019
文化資源魅力UP事業	新潟市	南区内の文化施設や文化活動等の文化資源の魅力を引き出し、価値向上を図った(※2018年度事業名称「文化施設魅力UP事業」)。	2018 2019
新潟市観光写真コンクール	新潟観光コンベンション協会	食・花・みなとまち・風景・イベント・まつりなど、新潟市の観光振興やイメージアップにふさわしい魅力ある写真を募集・選出。	2018 2019

(3)新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
海外との経済交流の推進	新潟市	本市の強みである「食」を通じた経済交流に取り組み、台湾、シンガポールその他の国・地域の海外バイヤーとの商談機会を創出し、食品・農産品などの輸出拡大を図った。	2019
食と花の世界フォーラム	新潟市	食と花に関する新たなビジネスチャンスや産業の振興を図り、本市の拠点化を推進するため、食の国際見本市フードメッセ in にいがた、食と健康フォーラム、花き産業振興事業などを開催。	2019
G20新潟農業大臣会合開催推進事業	新潟市(農林水産省)	農水省の協力のもと、2019年5月11、12日のG20新潟農業大臣会合を成功裏に開催することができた。新潟市・新潟県ほか関係機関で構成する「G20新潟農業大臣会合開催推進協議会」を通じ、県民・市民の機運醸成、県外・国外への魅力発信、大使館職員等の新潟視察対応、会場展示やレセプションに係る調整などを実施した。	2019

開催概要

実行委員会事業

連携事業

関連施策

協賛・応援

資料編

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭の開催	新潟県ほか（新潟県実行委員会等）	「国民文化祭・にいがた2019、全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」において、交流人口の拡大、シビックプライドの醸成、市民の文化活動の活性化などを目的に「文化団体連携事業」や「市町村独自事業」を実施した。	2019
新潟空港の利用活性化促進	新潟県ほか	県や経済団体と一体となり、新規路線誘致と既存路線の維持・拡充に取り組み、交流人口の拡大と拠点性の向上を図り、地域活性化につなげた。	2019
M I C E の推進	新潟市	官民一体となってM I C E 誘致の推進・支援を図り、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化につなげた。	2019
姉妹・友好都市、交流協定都市との交流	新潟市	ハルビン市との友好都市提携40周年やナント市との姉妹都市提携10周年の記念事業を行うほか、姉妹都市、交流協定都市をはじめとした世界のさまざまな地域との交流を継続することにより、相互理解の深化を図り、次世代の国際交流・協力関係の進展へつなげた。	2019
多文化共生のまちづくり	新潟市	外国籍市民を対象とした防災知識の普及啓発や、留学生が地域への理解を深める場を設けるなど、多文化共生のまちづくりを推進。	2019
製造・物流の企業立地への助成	新潟市	工場や物流施設の立地促進及び雇用機会の拡大を図るため、製造業及び物流業の工場建設事業に対して、条例等に基づく用地取得費の一部や固定資産税・事業所税相当額などを助成。	2019
企業誘致の推進	新潟市	地域の強みと特性を活かした産業集積を図るため、地域未来投資促進法基本計画で指定した地域経済を牽引する分野を重点的に支援するなど、首都圏をはじめ市外の企業に対する誘致活動を積極的に行った。	2019
農産物輸出促進事業	新潟市	農産物の販路拡大による生産者の農業経営基盤強化に向けて、米と酒を中心とした本市の食文化を発信し、市産農産物の輸出拡大を図った。	2019
【新潟港の振興】自治体連携事業	新潟港利用・地域経済活性化実行委員会	新潟県域内の重要な産業インフラである新潟港の振興と地域内の多様な産業集積を活かして地域経済の活性化を図るため、3市1町が連携し、首都圏の展示会に出展しPR。	2019
クルーズ船の誘致推進	新潟県 新潟市 聖籠町	交流人口の拡大による地域活性化や「みなとまち」機運の醸成を図るため、寄港時の歓送迎対応や、乗客・クルーズ船社等へ新潟港・新潟市・聖籠町を中心とした県内観光のアピールを行い、クルーズ船の誘致に取り組んだ。	2018 2019
ハイレベル国際コンベンション等の誘致	新潟県・新潟市	ハイレベル国際コンベンションを中心とした政府間会合等を誘致することにより世界へ新潟をアピールするとともに、地域の活性化を図った。	2018 2019
東アジア文化都市交流事業	新潟市	東アジア文化都市のパートナー都市である青島市・清州市と青少年団及び芸能団の相互派遣を行い、各都市独自の文化イベントや交流プログラムを通じて、相互理解を図るとともに、本市文化の発信を行った。	2018 2019
広域連携による誘客促進	新潟市	県内をはじめ隣県の都市等との広域的な連携により、お互いの優位性のアピールと相互補完をしながら、魅力あるコースの構築を図るとともに、様々なテーマでつながる都市等との連携により、誘客の促進に努めた。	2018 2019
外国人の誘客促進	新潟市	様々な自治体や民間事業者と連携し、情報発信と海外セールスの強化を図ることで、さらなる訪日外国人観光客の誘致を推進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげた。	2018 2019
新潟港の利用活性化推進	新潟県ほか	新潟港の利用活性化を図るため、コンテナ貨物の輸出支援、ポートセールス、港湾施設の整備促進等に取り組んだ。	2018 2019

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンの開催	新潟県ほか（庄内エリアDC推進協議会）	新潟県・庄内エリアを全国にアピールするため、地域（地方公共団体や企業等）とJRグループ6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）が協働で取り組む、国内最大規模の大型観光キャンペーンを実施。	2018 2019

（４）港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
海フェスタにいがたの開催	新潟市ほか（海フェスタにいがた実行委員会）	開港150周年記念事業のキックオフイベントとして様々な事業を展開し、海・船・港の魅力や重要性を次の世代へつなげるとともに、みなとまち新潟の発信に努め交流人口の拡大を図った。	2018
万代島にぎわい空間の創造事業	新潟市	万代島の賑わい創出を図るため、平成30年より供用を開始した万代島多目的広場や、ピアBandaiの利活用推進に取り組んだ。	2018 2019
万代テラスの利活用	新潟県・新潟市	万代テラスを民間開放し、ミズベリングとも連携していくことで、多目的利用を図った。	2018 2019
ミズベリング信濃川やすらぎ堤の実施	新潟市、民間事業者	河川法の改正により、民間事業者による営業活動が可能となった信濃川やすらぎ堤の一部区域において、民間事業者によるマネジメントのもと、飲食店の出店を中心とした賑わい創出事業を展開。	2018 2019
クルーズ客船の誘致受入	佐渡市	小木・両津港でのクルーズ客船受入を実施し、交流人口の増加、地域経済の活性化を図ることができた。	2018 2019
創造的まちづくり調査研究	新潟市（志民委員会）	新潟開港150周年の節目に、市民の目線から魅力と活力のある創造的なまちづくりに向けて夢・ビジョンを描き、実現に向けて行動する志民委員会の活動を支援し、新しい市民参加型の創造的なまちづくりを促進。	2018 2019

（５）活気と魅力があふれる「みなと」の創出

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
万代島地区将来ビジョンの策定	新潟県・新潟市	新潟県と新潟市が連携して、新潟開港150周年を機に、万代島地区の活性化や賑わい創出につながる将来ビジョンを策定。	2018
古町地区将来ビジョンの策定	新潟市	「新潟都心の都市デザイン」において「旧市街地・開化ゾーン」と位置付けられた古町地区におけるまちの将来像や方向性を官民連携で策定。今後、将来ビジョンの具現化に向け取り組みを推進。	2019
新潟港利用荷主に対するインセンティブ制度	新潟県ほか	県・市・N-WTTで役割分担しながら切れ目のないインセンティブ制度を構成することで、新潟港における荷主企業の利用拡大を推進。	2019
みなとオアシスの利活用	新潟市	地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、朱鷺メッセやみなとびとびといった代表施設で構成。新潟開港150周年を契機とし、みなとオアシスの更なる発展を図るため、構成施設と連携し各施設のPRやイベント情報の発信を行った。	2019
粟島・新潟航路による誘客実験	粟島浦村	昭和49年まで運航していた新潟港と粟島港を結ぶ「粟島・新潟航路」を期間限定で復活させた。乗船者は、通常見ることができない港湾・海上景色を見ながらの船旅を満喫できた。	2018 2019

開催概要

実行委員会事業

連携事業

関連施策

協賛・応援

資料編

都市基盤の整備に関する施策

新潟開港150周年を契機として、官公庁等の関係機関が取組む施策や事業を開港150周年記念事業の「関連施策」として位置づけ、各事業を推進した。
 (対象期間：2018年4月～2019年12月)

■ 主な施策 ※ 一覧をP.178～179で掲載

事業名	旧新潟税関庁舎等整備活用事業
実施年度	2018年度
実施主体	新潟市
開港150年にあたる平成30年度までに、開港五港で唯一現存する税関遺構である旧新潟税関庁舎の整備工事を実施。2019年1月12日供用開始	
基本方針	(1)みなと文化の深化と次世代への継承



事業名	景観形成の推進
実施年度	2018・2019年度
実施主体	新潟市
豊かな自然や文化に根差した「にいがたらしい」良好な景観形成を市民・事業者と一緒に推進。	
基本方針	(2)みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信



事業名	新潟駅周辺整備事業
実施年度	2018・2019年度
実施主体	新潟市
新潟の陸の玄関口にふさわしい機能的で魅力ある都市空間と、日本海国土軸の強化及び利便性の高い交通ターミナル機能の充実を図ることを目的に、鉄道高架化や立体交差道路及び駅前広場等を整備。	
基本方針	(3)新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築



2018年度 高架駅第一期開業、
2019年度 新潟鳥屋野線一部供用開始

開催概要

事業名	万代島にぎわい空間の創造事業
実施年度	2018年度
実施主体	新潟市
新たな賑わい空間を創出するため、万代島旧水揚場跡地を多目的広場として整備。2018年3月10日、屋内広場供用開始。同年6月1日、屋外広場供用開始。	
基本方針	(4)港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造



実行委員会事業

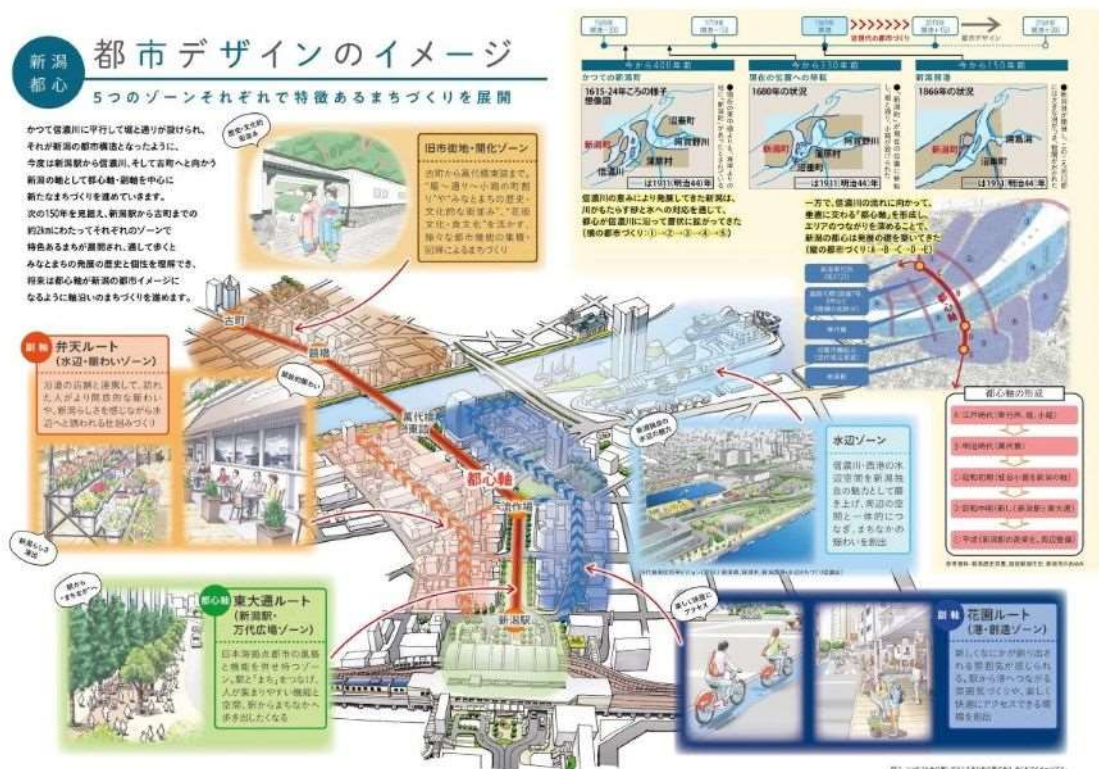
連携事業

事業名	都市デザイン推進事業
実施年度	2018・2019年度
実施主体	新潟県・新潟市
開港150周年を次世代のまちづくりを考える契機と捉え、都心軸（東大通ルート）や副軸（弁天ルート・花園ルート）で新潟駅と旧市街地・開化ゾーン（古町地区）や水辺ゾーン（西港・万代島地区等）を結び、回遊性のあるまちづくりを目指す。都市デザインの実現に向け取り組みを推進。 2018年度：「新潟都心の都市デザイン」の公表 2019年度：新潟駅・万代地区周辺まちづくり協議会の設立 「新潟都心の都市デザイン」概要版リーフレット作成	
基本方針	(5)活気と魅力があふれる「みなと」の創出

関連施策

協賛・応援

資料編



都市基盤の整備に関する施策一覧

(1) みなと文化の深化と次世代への継承

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
旧新潟税関庁舎等整備活用事業	新潟市	開港150年にあたる平成30年度までに、開港五港で唯一現存する税関遺構である旧新潟税関庁舎の整備工事を実施。	2018
古町地区活性化まちづくり	新潟古町まちづくり株式会社、新潟商工会議所、新潟市	エリアマネジメント組織の設立や歴史・文化的な街並みの整備など、公民連携の下で古町地区の賑わい創出を図った。	2018 2019

(2) みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
観光交流空間の整備 (古町花街エリア街路美装)	新潟市	古町花街地区について、石畳舗装による街路の整備を行い、交流人口の拡大を図った。	2018 2019
景観形成の推進	新潟市	豊かな自然や文化に根差した「にいがたらしい」良好な景観形成を市民・事業者と一緒に推進。	2018 2019

(3) 新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
新潟駅周辺整備事業	新潟市	新潟の陸の玄関口にふさわしい機能的で魅力ある都市空間と、日本海国土軸の強化及び利便性の高い交通ターミナル機能の充実を図ることを目的に、鉄道高架化や立体交差道路及び駅前広場等を整備。	2018 2019
新潟中央環状道路	新潟市	都心部と各地域拠点を効率的に結ぶ「放射環状型の道路ネットワーク」の要として、交通アクセスの向上、混雑の緩和、防災機能の向上、そして交流・連携の促進や活性化など、新潟市の拠点性を高める重要な道路である新潟中央環状道路を整備。	2018 2019
国道7号万代島ルート	新潟国道事務所	国道7号万代島ルートは、新潟バイパス等の東西の交通軸と市街地中心部を結ぶ南北方向の新たな交通軸となるとともに、周辺の道路や地域にさまざまな効果が生み出されることが期待されることから、現在事業中の栗ノ木道路・紫竹山道路事業を推進。	2018 2019

(4) 港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
新潟港宣伝・PR事業	新潟県	万代テラスから佐渡汽船までの照明柱に各種イベント広報バナー掲出用アームを常設。	2018
新潟港にぎわい創造事業	新潟県	今後の万代テラスにおけるイベント等利用増加に備え、万代テラスにイベント用電源を増設。	2018
旧二葉中学校跡地利活用（グラウンド）	新潟市	旧二葉中学校跡地の売却や借地権の設定等を念頭に置き、地域の要望等を踏まえた活用策の検討を進め、早期に土地利用方針を示すことができるよう取組んだ。	2018
新潟市商店街環境整備事業 (古町7通り環境整備事業)	古町7番町商店街振興組合（新潟市）	商店街と環境的に一体となる大和跡地再開発ビルの竣工に合わせて、商店街の魅力を向上させるためのアーケードの改修、改築を支援し、本市中心市街地の活性化を図った。	2018

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
万代島にぎわい空間の創造事業	新潟市	新たな賑わい空間を創出するため、万代島旧水揚場跡地を多目的広場として整備。	2018
水辺整備事業（やすらぎ堤地区）	信濃川下流河川事務所	やすらぎ堤の高水敷保護を目的に車輛の荷重に耐える保護工を右岸八千代橋前から順次整備する。堤防から高水敷へのアクセス性向上のため坂路工を整備。かわまちづくり支援制度を活用。	2018 2019
都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業	新潟市	「ミズペリング信濃川やすらぎ堤」や、開港150周年に併せた光の演出などを行い、萬代橋周辺の新たな魅力を創出。	2018 2019

(5)活気と魅力があふれる「みなと」の創出

事業名	実施主体	事業内容	連携年度
消防艇更新整備	新潟市	新潟港に出入港する大型客船等の船舶火災をはじめ、水難事故等の各種災害に対応する消防力を強化し、みなとまち新潟の安心・安全を確保。	2018
万代島物揚場改修	新潟県	市が実施する「万代島にぎわい空間の創造事業」に合わせ、そこに隣接する万代島物揚場のエプロン修繕を実施し、周辺を一体的に整備。	2018
駅・万代をつなぐ公共空間利活用の推進	新潟市	「新潟都心の都市デザイン」に基づき、都心エリアにおいて、新潟駅周辺整備や古町地区再開発事業が進捗し、今後更に民間の建物更新等の土地利用の動向が想定されるなか、官民連携しながら、駅周辺と万代、古町地区を結ぶ都心軸を中心に回遊性向上や、新たな賑わい創出につなげるため、歩行者空間の確保や公共空間の利活用にに向けた取り組みを推進。	2019
万代島にぎわいみなと創造事業	新潟県・新潟市	新潟開港150周年を機に、新潟県と新潟市が連携して策定した万代島地区将来ビジョンの施策について検討を開始。	2019
都市デザイン推進事業	新潟県・新潟市	開港150周年を次世代のまちづくりを考える契機と捉え、都心軸（東大通ルート）や副軸（弁天ルート・花園ルート）で新潟駅と旧市街地・開化ゾーン（古町地区）や水辺ゾーン（西港・万代島地区等）を結び、回遊性のあるまちづくりを目指す。都市デザインの実現に向け取り組みを推進。	2018 2019
新潟港海岸西海岸地区整備事業	新潟港湾・空港整備事務所	新潟港海岸西海岸地区において国土を保全し、背後にある土地や資産を防護するための海岸保全施設整備を実施。海岸エリア周辺のイベント等での利活用に一層取り組んだ。	2018 2019
新潟港西港地区整備事業（航路浚渫・防波堤）	新潟港湾・空港整備事務所	西港地区が信濃川河口に位置することから、港内埋没を防ぐ浚渫及び第二西防波堤整備を実施。西港開港以降、明治42年より実施している浚渫事業を継続。	2018 2019
新潟港東港地区整備事業（防波堤）	新潟港湾・空港整備事務所	安定した物流機能確保に資する防波堤整備を実施。本州日本海最大の取扱量を誇る国際コンテナ物流やLNG等のエネルギー輸入拠点として、防波堤整備事業を継続。	2018 2019
信濃川左岸緑地整備	新潟県	信濃川左岸緑地の延伸（100m）を行い、みなとぴあ周辺の賑わい空間を拡充。	2018 2019

開催概要

実行委員会事業

連携事業

関連施策

協賛・応援

資料編

「みなとまちの振興に関する施策」基本方針別の施策数

基本方針	施策数
1 みなと文化の深化と次世代への継承	19事業
2 みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信	32事業
3 新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築	19事業
4 港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造	6事業
5 活気と魅力があふれる「みなと」の創出	5事業
合 計	81事業

「都市基盤の整備に関する施策」基本方針別の施策数

基本方針	施策数
1 みなと文化の深化と次世代への継承	2事業
2 みなとを中心とした新潟ブランドの情報発信	2事業
3 新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築	3事業
4 港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造	7事業
5 活気と魅力があふれる「みなと」の創出	9事業
合 計	23事業